

中海エコ活動レポート

中海周遊サイクリングの推進

中海周遊サイクリングコース完成。中海ライド2015開催。



鳥取県と島根県では、地元住民をはじめ多くの皆さんが水辺環境に優れた中海周辺を楽しめるよう両県連携して、昨年8月に「中海周遊サイクリングコース」のルートを設定し、路面標示等の整備をしました。今年6月には、362名が参加した中海一周サイクリング大会「中海ライド2015（主催：松江輪栄協同組合）」にも利用されています。

また、サイクリングマップを作成し、中海周辺の観光地や景観地を紹介していますので、サイクリングの計画等にお役立てください。



中海ライド2015

■サイクリングマップは、下記の県ホームページからダウンロードできます。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/246075.htm>

- 中海周遊サイクリングの推進
 中海周遊サイクリングコース完成。中海ライド2015開催。
- アマモ場の保全・再生事業
- 第6期中海湖沼水質保全計画を策定しました！

- 中海10珍+1
- 中海夕暮れコンサート
- 松江市「大根島ぼたん祭」2015

かつての中海は魚介類の宝庫であり、特に魚類の「産卵場・育成場」として重要な役目を担っていましたが、地域活性を目的に干拓事業に伴う開発事業が半世紀をかけ行われてきたことにより、中海の環境は一変しました。

NPO法人未来守りネットワークは中海の水質浄化や魚介類の再生を目的に地元企業人が中心となって平成16年に設立されましたが、当時はアマモ・コアマモの海草類が湖底の水質浄化や魚類等の産卵場・育成場に重要な役割を果たしていることが再認識され、全国各地で海草類の再生が行われていました。中海の海草の歴史や役割等を調査すると、かつてアマモ・コアマモ場が1,000ha存在していたことが分かりました。



発芽したアマモ

アマモ・コアマモ場の再生に向け外部からの指導や未来守りチャイルドクラブ・会員・一般企業・各漁協・住民・高校ボランティア等多くの皆さんの支援を仰いだところ、平成16年頃には1aしかなかったアマモ場を平成23年頃には約1haまで再生させることに成功しました。また、平成21年には、第2回全国アマモサミットを米子・境港市で開催し、全国から2日間で延べ700名以上が参加しました。



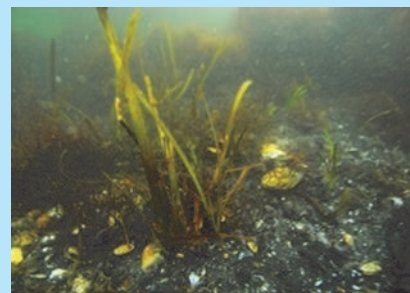
第2回全国アマモサミット

こうした取組が広がっていく一方で、昨年は魚介類や海草類が大変な被害に遭いました。オゴノ



境港でのアマモ移植イベント

リ等の海藻が異常繁殖しこれらが一挙に腐敗して大量の硫化水素が発生したことが、原因の一つとして考えられます。



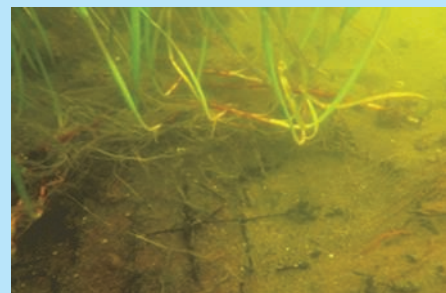
枯れたアマモ場と死滅したアサリ

さらに3~4年前から、アマモ場周辺にアサリの稚貝が生息できる環境ができたと同時に、アサリを餌とするエイによる食害で、アマモが根こそぎ起こされ、アマモ場が消滅する被害が出はじめました。平成27年4月の調査では1haあったアマモ場が3a以下に激減しています。



網にかかった大きなアカエイ

今後、エイによる食害への対策など大きな課題も残っていますが、このアマモ場の保全・再生事業は安来市へも広がりを見せ、子ども達的环境教育の場となっています。今年も6月にアマモの種子を採取するイベントを開催したところ25名の参加がありました。11月にはアマモの種子の植付けイベントを行う予定で、様々な課題はありますが、今後もこのアマモ場の保全・再生事業を継続して行って行きたいと思えます。



アカエイにより掘り起こされたアマモ場



島田小学校でのアマモ植栽イベント

■ NPO法人未来守りネットワーク
〒684-0004 境港市大正町38
TEL (0859) 47-4330
<http://www.npo-sakimori.net/>

第6期中海湖沼水質保全計画を策定しました！

中海では、平成元年度以降、湖沼水質保全計画を策定し、各種施策を推進した結果、流入する汚濁負荷量は着実に減少しましたが、未だ環境基準は達成していません。

一層の負荷削減や汚濁原因の解明等のために、今回の第6期計画では、河川管理者（国）、周辺市等と連携を図るとともに、わかりやすい評価指標を新たに設定し、県民の皆さまの理解と協力をいただきながら、水質保全対策を推進します。

【長期ビジョン】「みんなで守り、はぐくむ、豊かな中海」

○ 人々に恵みや潤いをもたらす豊かな汽水域生態系

- ・ゴズ（マハゼ）、スズキ、赤貝（サルボウガイ）などの特徴ある魚介類が生息する
- ・アマモ・コアマモなどの海草が揺れ、魚介類の命をはぐくむ浅場・藻場

○ 人々のくらしにやすらぎを与える美しい水辺空間

- ・訪れる人に感動を与える水面に映える雄大な大山
- ・魚釣りや水遊びなど人々が水辺に集い、水とふれあう

○ 人々の間で語り、受け継いでいく湖

- ・親から子へ、子から孫へ、中海の自然・歴史を学び、伝えていく

長期ビジョンの実現に向けての評価指標（新規設定）

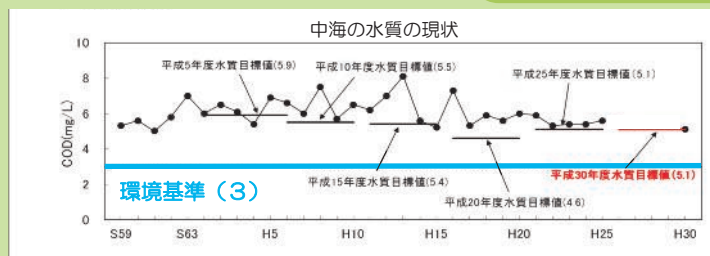
COD、全窒素、全りんといった従来からの水質目標に加え、中海の特性、特徴を踏まえて以下の項目についても評価し、達成を目指します。

①親しみやすく、分かりやすい環境指標による評価

「五感による湖沼環境指標」で、おおむね良好で、親しみやすい環境にあると感じられる水質（80点以上）を目指す。

②見た目にも快適と感じられる水環境に向けた評価

レクリエーション等で多くの人が集まる機会があり、水質改善の必要性の高い米子湾について、「透明度」がおおむね2m以上となることを目指す。



■ 鳥取県水・大気環境課水環境保全室

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=20348>

■ 島根県環境政策課宍道湖・中海対策推進室

http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/dai_6_kosyou_keikaku/

中海10珍+1

認定NPO法人 自然再生センター

中海10珍+1は、2005年に新しい中海の味を考えようと一般市民から投票していただき、選考委員により10種の魚介類と、復活して欲しいという願いで赤貝が特別枠で選ばれました。

- ①マハゼ（ゴズ）：言わずと知れた中海で最も親しまれている魚の一つ。
- ②サヨリ（スクビ）：下あごが長く突き出ているのが特徴。
- ③サッパ（カワコ・マーカレ）：中海での評価は低いですが、岡山では「ママカリ」と呼ばれ、名産となっている。
- ④スズキ：小さいものはセイゴと呼ばれ、全国でも有名な産地。
- ⑤ヒイラギ（エノハ）：吸い物や煮付けにするとおいしい。
- ⑥ウナギ：関西風の蒲焼きは出雲から始まったとも言われている。
- ⑦タイワンガザミ（アオデガニ）：鍋物や味噌汁にするとダシが出て最高。
- ⑧ニホンイサザアミ（オダエビ）：1.5cm程の大きさで、佃煮にして親しまれている。
- ⑨ヨシエビ（モロゲエビ、ホンジョエビ）：18cm程の大きさで、大量に漁獲されていたが、現在は激減している。

⑩マガキ：小型ですが、身がつまり濃厚な味。日本で数少ない天然ガキ。

⑪サルボウガイ（赤貝）：最近、垂下養殖が進み、肉厚で「プリプリ赤貝」と言われ自然再生の証として、期待されている。

認定NPO法人自然再生センターでは『中海10珍+1絵葉書』を販売して「中海の恵」の普及啓発を展開しています。



※写真資料提供 日本シジミ研究所

■ 認定NPO法人自然再生センター

〒690-0064 松江市天神町114

TEL (0852)21-4882

<http://www.sizen-saisei.org/>

中海夕暮れコンサートは「中海の夕日」をテーマに、2007年から始まりました。「宍道湖の夕日」の美しさは有名で、様々な利活用がされていますが、「中海の夕日」にも何とも言えない郷愁があり、時を忘れさせてくれます。実際、夕日スポットである米子市湊山公園湖岸には、夕日に見とれる市民の姿を目にします。中海夕暮れコンサートはその湊山公園を中心に各地で行っているコンサートです。

7月11日には、コンポーザー（ピアノ奏者）のS I Nさん（鳥取市在住）のコンサートが、夕日をバックに行われました。夕暮れ時の不思議な空間の中、幻想的な音楽が来場者を魅了、日常を忘れさせてくれる、そんな贅沢な時間でした。



夕暮れコンサートは、9月末まで行われます。ぜひお越しください。



■ NPO法人中海再生プロジェクト
（中海テレビ放送内）

〒683-0852 米子市河崎610

TEL (0859)-29-2854

<http://gozura101.chukai.ne.jp/nakaumi/>

松江市「大根島ぼたん祭」2015

中海に浮かぶ日本一の牡丹の島へ

松江市大根島ぼたん祭実行委員会

松江市八束町では、毎年春の牡丹シーズンに町内あげてぼたん祭を開催しております。

今年は、4月初旬は雨が多く気温も低かったので、牡丹の開花が遅れ気味でしたが、4月の中旬頃から晴天で気温も高くなり、一気に牡丹が開花し5月連休後半まで牡丹が持つか心配しておりました。

そのような中、牡丹農家や愛好家が丹精込め



て育てた牡丹の切花品評会を、4月28日(火)・29日(水・祝)に開催し、来場者の投票で優秀作品が決まりました。

また、松江市八束支所をメイン会場として、山陰のアーティストによるステージイベント、中海・宍道湖圏域のうまいもの屋台村、また、牡丹を眺めながら大根島を味わっていただく牡丹ウォークなどを開催しました。



■ 松江市大根島ぼたん祭実行委員会
（松江市八束支所地域振興課）

TEL (0852) 55-5822

<http://www.daikonshima.or.jp/>

中海の環境活動イベント情報をホームページに掲載しています

中海・宍道湖情報館 イベント情報 ホームページアドレス <http://www.nakaumi-shinjiko.jp/calendar.html>

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所

生活環境局環境・循環推進課

鳥取県米子市靴町一丁目160

電話 (0859)31-9322

E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.jp

Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

鳥取県環境生活部環境政策課

宍道湖・中海対策推進室

鳥取県松江市殿町1番地

電話 (0852)22-6445

E-mail: kankyo@pref.shimane.lg.jp

Homepage: http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。詳しくは、左記連絡先に連絡していただくか、ホームページをご確認ください。なお、投稿にあたっては出来る限り電子データで投稿をお願いします。